

第十七章 精神科プログラム

1. 研修病院 医療法人 苫小牧緑ヶ丘病院

1) 病床数

111床、 全て精神科療養病床、 2病棟

2) 外来

月～土（月～金は午前午後、土は午前のみ）

3) 患者構成

統合失調症、躁鬱病、神経症圏、アルコール依存症、
痴呆症など幅広い

4) 特徴

病棟作業療法、デイケア、訪問看護を行い、精神化リハビリテーション、地域支援活動にも力を注いでいる。

2. 研修目標：

精神科面接方法、診察方法を習得し、患者の精神心理社会面に配慮する姿勢を身に付ける

各々の精神疾患の内容、薬物療法、精神療法について理解する
精神科リハビリテーション、地域支援活動を経験し理解を深める。

3. 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来診療 (予診・病歴作成)	外来診療	外来診療	デイケア 訪問看護	作業療法 施設見学
午後	病棟診察 (受け持ち患者)	2階病棟回診	3階病棟回診 アルコール 集団精神療法	デイケア	作業療法 医局 カンファレンス

4. 研修期間：

1ヶ月（希望により2ヶ月まで延長可能）

5. 研修内容

1) 外来診療：

新患の予診、病歴作成、外来診察の見学

2) 病棟診療：

指導医とともに病棟回診、受け持ち患者の診察

統合失調症、躁鬱病、痴呆症の患者を各1例、計3例以上の症例を受け持ち、病歴・診断・治療についてレポートをまとめる。

3) デイケア・作業療法：

デイケアプログラム、病棟作業療法に参加

4) 訪問看護：

訪問看護スタッフとともに訪問看護を経験する。

5) 集団精神療法：

週1回行われているアルコール依存症患者を対象とした集団精神療法を見学する。

6) 社会復帰施設の見学

苫小牧緑ヶ丘病院通院患者が利用している作業所、授産施設などの見学。

① 作業所—もなみ、まろにえ

② 授産施設—アルドール

③ 地域生活支援センター

7) 医局カンファランス

週1回 (新患紹介、症例検討会)

6. 研修実施責任者および指導を行う者

土屋 潔 (苫小牧緑ヶ丘病院院長・精神保健指定医)

第十八章 精神科プログラム

1. 研修病院 北海道大学病院 精神科

1) 病床数：

70床（開放病棟40床、閉鎖病棟30床）

2) 研修プログラムの特徴：

- ①初期研修においては、精神科疾患の病態、診断、治療についての基本を習得することは勿論のこと、高度先進医療に伴う心理社会的問題に関するリエゾン・コンサルテーション活動など、総合病院内での全人的治療の担い手としての役割も身につけていく。
- ②大学病院精神科での研修では、主治医としての診療にあたりながら、指導責任医師から懇切丁寧な徹底した指導を受けるとともに、病棟あるいは外来カンファレンスで診断の妥当性や治療方針などの問題点についての詳細かつ活発な検討に参加する。
- ③教授以下全教官によって、それぞれ専門の10分野にもわたるクルーズ（勉強会）が行われる。この当科卒後研修プログラムは、日本精神神経学会の卒後研修プログラムのモデルとなっている。

2. 研修内容と目標：

北大精神科で研究・活躍している多くの専門家の懇切丁寧な指導のもと、伝統と定評ある精神科専門医研修を精神科の全分野にわたって高度なレベルで受けます。

- ① 統合失調症・気分障害などの薬物療法、精神療法、作業療法、デイケアなどの治療技法の修得。病因・治療薬の作用機序について各分野のスペシャリストによる教育を受ける。
- ② 摂食障害、不安障害他の心理的介入をより必要とする精神疾患における精神療法（認知行動療法を含む）、薬物療法などの治療技法の修得。精神療法・臨床精神病理のスペシャリストによるマンツーマンの教育・スーパーヴィジョンによる臨床教育を受ける。
- ③ 老年期、児童思春期、青年期など世代に特有の精神病理・心理に基づいた専門診療能力の習得。
- ④ てんかん診療についての専門的診療能力の修得・・・発作症状とてんかん診断の理解。脳波の判読。発作記録の解析。画像診断（MRI、SPECT、PETなど）。薬物療法の実際。合併症状（知的障害、精神症状、心因性

発作など)への対応。生活指導。

- ⑤認知症性疾患・脳器質性疾患・症状精神病の診断（認知機能評価・神経学的診察・画像脳波診断）と治療についての専門的診療能力の修得、病因についての神経科学的理解。
- ⑥精神科外来、入院、他科へのリエゾン往診など精神科診療全般にわたって、指導医のていねいな指導のもと研修を受けます。他科との連携では、緩和ケア、肝移植の術前術後のメンタルケア、HIV感染に関連するカウンセリングのスーパーバイズなどの業務を担当しています。
- ⑦精神保健福祉法を正しく理解し、医療保護入院、措置入院、任意入院についての適切な手続きを指導医の指導により実施することを学ぶ。
- ⑧画像診断、精神療法、薬物療法、精神病理、精神科リハビリテーション、最新の神経科学について広範かつ統合的に理解することにより、オールラウンドに専門知識を有する精神科専門医となることを目指す。これらの専門的な教育を基礎として、精神科の各専門分野のスペシャリストをさらに目指すことは可能ですし、専門に偏らない精神科医を目指すことは重要です。

3. クルズス・スケジュール

火	8:00 - 9:00	「気分障害（うつ病・双極性障害）」
	8:00 - 9:00	「てんかん」
	AM	デイケア活動（長期研修のみ）
	16:00 - 17:00	「リエゾン精神医学」
	17:00 - 18:00	「薬物依存」
水	13:40 - 15:00	病棟レク
	15:50 - 16:50	「臨床統計学・認知機能検査」
	17:00 - 18:30	教室行事
木	8:00 - 9:00	「老年期精神障害・脳画像」
	8:00 - 9:00	「社会福祉制度」
	AM	デイケア活動（長期研修のみ）
	17:00 - 18:00	「統合失調症」
	17:00 - 18:00	「児童思春期精神医学」
金	16:00 - 17:00	「神経症・司法精神医学」
	16:00 - 17:00	「リエゾン精神医学」
	17:00 - 18:00	「精神療法」
	17:00 - 18:00	「臨床心理学」

4. 研修期間：1ヶ月（希望により2ヶ月まで延長可能）

5. 研修実施責任者および指導を行う者

平野 聡（北海道大学 臨床研修センター長）

第十九章 精神科プログラム

1. 研修病院 医療法人こぶし 植苗病院

1) 病床数

230 床

2) 外来

月～金（月～金は午前、水は午前・午後）

3) 患者構成

統合失調症、気分障害、依存症、認知症など幅広い

4) 特徴

入院を中心とした医療だけでなく、診療所や訪問看護ステーションと連携した地域医療に力を入れている。

2. 研修目標：

精神疾患に対する理解を深め、基本的な精神科面接方法を修得する。
また精神科薬物療法に関する基礎的な事項やその問題点を学ぶ。
さらに精神科病院での入院治療が他科の入院治療と法的な側面で異なることを実地で理解する。

3. 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
午後	病棟業務	医局会 カンファレンス	訪問診療など	集団精神療法 デイケア	サテライト診療所での業務

4. 研修期間：

1ヶ月（希望により2ヶ月まで延長可能）

5. 研修内容

- 1) 病棟業務では、入院患者のカルテを参照しつつ、精神疾患に関する理解や精神保健福祉法に関する理解を深める。また精神科医の診察に陪席し、面接の実地を学ぶ。

- 2) 医局会・カンファレンスでは個別ケースを例に薬物療法や診断について学ぶ。

- 3) 訪問診療に関しては、可能なら訪問看護ステーションスタッフと同行し、地域サポートの実地について見聞を深める。

- 4) サテライト診療所業務では主にサテライトでのデイケアや相談業務について見学し、地域医療の実際に関する知見を広げる。

6. 研修実施責任者および指導を行う者

片岡 昌哉（医療法人こぶし 植苗病院院長・精神保健指定医）